



いしわら

石原小
ホームページ



4月号

令和8年4月6日

調布市立石原小学校

校長 飯島 慶裕

<http://www.chofu-schools.jp/isiwara-sho/>

新年度の出発にあたって

校長 飯島 慶裕

色とりどりに咲く花々に囲まれる中で、令和8年度が始まりました。まずは、お子様の御入学・御進級おめでとうございます。

本校では、新たに90名の新1年生を迎え、全校児童593名、19学級でのスタートとなりました。子供たち一人一人が自分のよさに気付き、そのよさを更に伸ばし、自信をもって取り組むことができるような1年間にしていきたいと考えています。教職員一同、全力で教育活動の充実に取り組んでまいりますので、御支援と御協力をよろしくお願いいたします。

【教育目標】

- 仲よく助け合う子 (重点目標)
- 根気よく学ぶ子
- 明るく元気な子



【目指す学校像】

☆ だれでも認め合い みんなで育ち合う 笑顔あふれる学校

1 保護者や地域とともに歩む学校

子供は、学校・保護者・地域の三者で育ててこそ、健やかに成長することができます。家庭や地域等と連携し、協力し合いながら地域に根差した教育活動を推進します。大人になっても、学んだことを誇る石原小学校であり続けることを目指します。

→ 誇れる笑顔

2 お互いを尊重し合いながら学ぶ学校

教師と子供、教師と保護者、保護者と子供だけでなく、子供同士、教師同士、保護者同士が相手を尊重し、認め合う中でこそ、子供は心身共に健やかに成長することができます。子供一人一人のよさや可能性を見だし、伸ばしていく教育活動を推進します。

→ 認められる笑顔

3 教職員にとって、自信と誇りをもってやりがいの感じられる学校

失敗を恐れず、次のステップへつなげていくことを重視します。教師のやる気は、子供たちの学習への原動力となります。教職員一人一人が、創意工夫しながら新しいことにチャレンジしていく教育活動を推進します。

→ やる気のある笑顔

4 子供にとって、安心して通える学校

様々な災害や日常生活での危険に対する正しい知識と、自らの命を守る対応力や予知・回避能力を高める活動を充実させます。また、食物アレルギーの対応を確実にを行い、誤配・誤食を防止し、子供の命を守ります。

→ 安心の笑顔

ところで、新年度の初めにあたりまして、宮澤章二さんの「流れの中で」という詩を紹介いたします。私たちは、毎日生活していますが、まったく同じ日というものはありません。あとでこうしておけばよかったと後悔しても、取り戻すことはできません。だからこそ、1日1日を大切に生きていきたいと考えます。子供たちにはまず、「言えるときに言っておかないと再び言えないコトバ」を大切にしたいと思っております。特に、「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」をしっかりと言えると、人との関係づくりもうまくなります。そして、「みがけるときに みがいておかないと 光らぬまま朽ちて行く宝」とあるように、毎日勉強を積み重ね、心と体を鍛えて、光り輝いてほしいと願っています。



流れの中で

宮澤 章二

聞けるときに 聞いておかないと
決して聞けないコトバがある
言えるときに 言っておかないと
再び言えないコトバがある
つかめるときに つかんでおかないと
死ぬまで無縁の宝がある
みがけるときに みがいておかないと
光らぬまま朽ちて行く宝がある
得たものを失う その数よりも
得られずに失われたものたちの数の多さ
わずかの知恵と わずかの努力で
それらに触れ得たかも知れないのに
新春の光がなでる新しい日記は
最初の頁から最後の頁まで 純白
しるせるときに しるしておかないと
二度とは記せない記録がある

